

東京聖書学院 Tokyo Biblical Seminary 学院だより

2015年

夏号 [合併36号]

5月20日発行

発行所/〒189-8512 東京都東村山市廻田町1-30-1

[東京聖書学院] 042-391-3076 fax.042-397-7558 郵便振替00190-0-78949

[聖書学院後援会] 042-394-8791 郵便振替00170-8-136685



東京聖書学院 学院長

錦織 寛

Nishikori Hiroshi

さあ、わたしはあなたを遣わして

出エジプト三章一～十二節

イスラエルの人々はエジプトで奴隸として何百年もの年月を過ごしました。「その苦役のゆえにうめき、また叫んだ」と言います。皆さん、神を知らず、知らない多くの人たちがいます。ここに平安が喜びがあるのに、その人たちを愛し、救つてくださる神様がおられるのに、誰にも教えてもらつたことがない人たちです。痛み、傷つき、うめいでいる人たちがいます。虐待されている子どもたちが、仕事の中でも喜びを見いだすことのできない人々が、また自分で自分を

モーセにはいろいろな恐れがありました。パロは怖いのです。パロはその当時の世界の権力者です。みんながパロのご機嫌を伺っています。パロが怒ったらみんなが震え上がります。そんなパロの前に一人で立つのでしょうか。またモーセはイスラエルの人々を恐れていました。もし、みんなが自分を受け入れてくれなかつたらどうしよう。四十年前のことがおそらくモーセのトラウマになっています。四十年前によし俺がイスラエルを救つてやると雄々しく立ち上がつたとき、イスラエルの人たちは「余計なお世話だ、誰もおまえに頼んでいない」と彼を拒んだのです。

でも神はモーセに「わたしはあなたを遣わして」とおっしゃいました。神様はあなたにもおっしゃいます。わたしはあなたを遣わす。私たちにも恐れがあります。怖いのです。自信なんどこにもありません。「神様、私はダメです」と言いたいのです。でも、神様は、そんなあなたであることをご存じの上で、あなたを遣わすとおっしゃるのであります。

三、遣わされる神

ここで神はおっしゃいます。「私は下つて、彼らを救い出す」「私はあつてある者だ」。そして神はモーセにおっしゃいます。わたしがあなたを遣わすにあたつてはあなたにその確かなしるしを与えよう。それは、わたしは必ずあなたと共にいる、ということだ。そしてこの約束は、まさにモーセのよりどころでした。

イスラエルの人々にとって歴史の中心はこの出エジプトの出来事です。しかし、その出来事が起るためには、神はモーセを必要とされました。神はあなたを必要としておられます。そして知つてください。神は、わたしは必ずあなたと共にいる、と約束してくださいのです。

二、遣わされるあなた

神様、あの人たちを救つてください、この人も頼みてください。祈つたらいと思います。しかし同時に、神は、私たちに、「さあ、わたしはあなたを遣わして」とおっしゃいます。